

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する	
重点施策ID	重点施策名	
3 - 1 - 1 - 1	広域道路網の整備	

2. 事業名等			
事業名	広域道路網整備事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	中原河屋線改良事業（中原工区）	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市	①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	④	④その他 ()
実施期間	平成 18 年度 ～ 平成 23 年度	根拠法規	地域再生法
各種の計画への反映（＝根拠計画）		市道整備計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景		補助事業	名称
<p>本路線は、大野川中流地区広域農道の市施行分である。本広域農道は中九州横断道路の大野インター、千歳インター、大飼インターのアクセス道路としての利便性が高く、早期完成が望まれる。沿線には、大分県畜産公社、農村改善センター、公立おがた病院等の公共施設があり、市民生活の利便性の向上が図られる。また、大野川流域で行われるイベントや観光施設を結ぶ主要な観光道路である。</p>		補助率	道整備交付金事業
		国 県 その他	
		5.0/10 1/ 1/	
起債の種類		①	過疎債
		②	
		③	

事業の目的及び対象		事業概要	
<p>【目的】 中九州横断道路、県道三重新殿線バイパス、広域農道に接続する市道を整備することにより、大分市や高速道路ICまでの所要時間を短縮し、広域交通ネットワークを確立する。</p> <p>【対象】 市民</p>		<p>○中原河屋線改良事業(広域農道関連事業) 大野町中原 大野川中流地区広域農道の市施行区間 延長L=2,300m 幅員W=5.5(7.0)m</p>	
		前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		E	
		維持	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金		21,500	20,325	43,875	55,000	67,500	75,000
	県支出金							
	地方債		20,000	18,000	42,000	52,200	64,100	71,200
	その他		1,500	2,325	1,875	2,800	3,400	3,800
	一般財源計		43,000	40,650	87,750	110,000	135,000	150,000
決算	国庫支出金		21,500	20,325	43,875			
	県支出金							
	地方債		20,000	18,000	42,000			
	その他		1,500	2,325	1,875			
	一般財源計		43,000	40,650	87,750			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 測量設計 L=2,300m	【実績】 改良工事 L=680m	【実績】 改良工事 L=98m(276mの内) 舗装工事 L=665m	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値									
活動指標	進捗率								
効率指標	-								
成果指標	緒方町中心部から大分市（川原地区）の間の所要時間。（但し広域農道を通行）								単位
									分
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考		
種別			所要時間	所要時間	所要時間	所要時間			
目標値			36	35	34	34			
実績値			36	35					
達成率			100.0%	100.0%					
備考									

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	本路線は、大野川中流地区広域農道の市施行分であり、幅員が狭小で大型車の離合等に支障をきたしているため。				
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	本路線は市道であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、市道整備計画を定め計画的、効率的に実施をしているため。また、工事についても、指名競争入札により発注を行っているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成20年度事業は改良工事及び舗装工事であったが、現道拡幅が進められ、離合等の問題も解決されてきており、利便性や通行の安全性が向上しているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	事業の予算は年度毎に多少の増減はあるものの、全体的な予算の中で計画的に事業を実施しているため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	道路改良事業は、グループ制を活用し、計画的に事業を実施しているものの、業務量から削減は困難であるため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市道整備計画に基づき、計画的に事業を継続しており、現状を維持する必要があるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	